

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ドリームズ・21st 徳川校		公表日		2025年 3月 28日		
サービス種別		放課後等デイサービス						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	お子様の活動のためのスペース（個別の部屋等）が十分に確保されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の内容に合わせて、机の配置を換えて取り組んでいる。 ・落ち着かない、パニックを起こしている子に対して、囲まれている場があることはありがたい。整理整頓を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンできたり、個別活動できたりする部屋が確保できるようにしていきたい。 		
	2	職員の人数は、お子様の人数に対して適切か。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定員10人以内は指導員3～4人確保、11人以上は5～6人確保を目指している。 ・当日突然の利用が入っても、本部の方に助けてもらいながら運営している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎用ドライバーを確保していきたい。 ・その日の利用者（人数とメンバー）がもう少し早く決定できるようにしていきたい。 		
	3	教室内はすべてのお子様を想定し、バリアフリー化などの配慮や十分な安全対策がなされているか。	○					
	4	事務所内は常に衛生的・清潔な状態が保たれているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・午前中掃除機を使い清掃したり、マイペットで机を拭いたりして衛生を保っている。 ・午前中に室内の清掃、机の消毒、おやつ前の机の消毒、おやつ後の机周りの清掃を行っている。 ・常時清掃、整理されている。 ・毎日活動前後に清掃を行っている。 			
業務改善	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・評価表を職員で共有し、意向を知ること、改善点を話し合っている。 			
	6	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の職員同士ではほぼできている ・随時、指導員同士での情報交換をしている。職員が集まった時に情報交換及び意見交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合う時間を充実させたい。 ・午後から出勤する非常勤の方々にも連絡をするよう努めている。 		
	7	お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の場で、保護者、子どもとの3者で短時間ではあるが、情報交換をし、職員に伝えて対処している。 			

適切な支援の提供	8	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの機会などを通して共通理解を図るよう努めている。 ・指導員もモニタリングに参加して、その時に得た情報を伝え、検討している。 	・話し合う時間をより確保し、共通理解を図っていきたい。
	9	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どものファイルがロッカーに保管されているので、情報を共有し、支援に生かしている。 	
	10	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	11	お子様の活動が固定化しないようプログラムが工夫されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの指導員の個性を生かして行われている。 ・グループ活動の指導者を順次変えることにより活動内容に変化を持たせている。 	
	12	活動内容についてスタッフに共有されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの指導員の個性を生かして行われている ・グループ活動について当日の職員に知らせ、どのように動いていただくの良いか話している。 ・事前に内容について共有し、その日の参加メンバーにより、補助の仕方などを考えている。 	
	13	お子様の活動意欲が高まるような創意工夫が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームズに来て楽しかったと思えるように活動を考えている。 ・出席者の学年を考慮して活動内容を吟味している。 ・その日の参加メンバー、人数も考慮し、より楽しく活動できるように工夫している。 	
	14	お子様の自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の内容や取り組ませ方で自己決定する場面を考慮している。 	
15	お子様個々に対して学習支援などが細かく行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ個別にみている ・一人一人の状況に応じ、プリントを準備している。 	・早く来て終わってしまった子どもへの対応を工夫し、職員皆で統一した指導を取っていききたい。	

	16	お子様の状況に応じた個別活動や集団活動が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・皆で取り組むグループ活動と、一人一人が自分の好きに使えるフリータイムを設定している。 ・苦手な子に関しては、スタッフが補助し、活動できるようにしている。 ・必要に応じて、本日の目あてを子どもと一緒に考え、設定したことで効果があった。 	
	17	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・よく行われている。 ・職員の打ち合わせと、支援内容、子ども理解については常時行っている。 ・常に確認と相談、連絡をいただいている。 ・送迎の順番、担当する子ども等、打ち合わせを行い、連携している。 	
	18	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動での子どもの興味関心度や、子どもへの提示の仕方などを話し合っている。 ・気が付いた点、確認できた点を共有するようにしている。 ・気になることがあった時には、情報交換をし、共通理解を図っている。 	・送迎で職員が抜けてしまうと全員の振り返りができないが、共有できるよう工夫している。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との下校時間の確認や、お迎え時に担任へ子どもの様子を伺うようにしている。 ・不明な時は都度連絡を取り、スムーズに送迎等が進むようにしている。 	
	21	お子様の状況に応じて、学校等を始め、関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	22	運営規程、利用者負担等について説明を行っているか。	○		
	23	保護者様との意思の疎通や情報伝達のための手段であるハグシステムについて、十分な説明がなされているか。	○		

保護者への説明等	24	ハグシステム等を通じ、日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができているか。	○		
	25	個別支援計画を作成する際には、お子様や保護者様の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	26	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から個別支援計画の同意を得ているか。	○		
	27	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談があった時にはよく話を聞き、できる限りの支援ができるよう努めている。
	28	お子様や保護者様からの相談や申し入れについて、対応体制を整備し、それを保護者様に周知・説明を行い、相談や申し入れがあった場合は円滑に対応しているか。	○		・送迎の時に、保護者と顔を合わせた時のちょっとした時間を大切に、情報交換をし、職員間で共通理解をしている。内容によっては保護者と話し合いをしている。 ・送迎時に様子を聞いたり、電話で確認したりして迅速に対応している。
	29	ハグシステムやホームページ等で、活動概要や連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対して定期的又は必要に応じて発信しているか。	○		・常時、活動内容とお子様の様子を伝えている。 ・ハグシステムでは毎回、詳しく報告しており、必要な情報を発信している。
	30	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・常に留意している。 ・記録用の写真を撮る際はほかの児童が映り込まないように個別に撮影している。
非常時等の対応	31	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・月に一度防災についての活動プログラムを行っている。
	32	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・職員間で共通理解をできるように口頭で伝えたり書面で伝えたりしている。 ・速やかに共有されている。
	33	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	34	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		